

令和5年度 第1回常任理事会 議事録

日 時 令和5年4月15日（土）10:00～

場 所 北海きたえーる研修室

出席者 印藤智一、丸山道博、家近昭彦、齊藤幸治、
石崎 賢、川崎尚子、多田吉宏
(事務局) 明井寿枝 (議事録)

<進行：丸山副理事長>

1 開 会

議事録署名人に印藤理事長のほか、丸山副理事長、石崎常任理事を指名。

2 理事長あいさつ

ヴォレアス北海道がV1昇格を果たし喜ばしい報告があった。

今年度は全国インターハイ、ヴィンテージの開催が予定されおり忙しい1年となる。

また、役員改選でもあり、新役員のもと多くの課題に集中的に取り組む必要があるため、今後ともよろしく願います。

3 協議事項

各担当者から、以下のとおり説明がなされ承認された。

(1) 令和4年度 事業報告について

・競技委員会（石崎競技委員長）

新人大への参加チーム数（会男子32チーム、女子35チーム）を前回資料に追加した。

・審判委員会（川崎総務委員長）

V1チャレンジに正岡氏、V2チャレンジに大塚氏、上総氏、V2女子ファイナルに藤井氏がそれぞれ派遣される。

・総務委員会、強化委員会、指導普及委員会は追加事項なし

(2) 令和4年度 一般会計・特別会計決算について（齊藤総務委員長）

一般会計では、令和3年度繰越額確定による補正予算を編成した。

令和4年度は、高校賦課金を増額したことや、Vリーグチームとの業務委託契約の締結に伴う受託収入を売掛金として見込んだ結果、収入合計が20,164,601円となった。

一方、支出の部では、事業費の大会参加料において、新型コロナによる参加チームの減や、総務委員会費、会議費、旅費などの減により、支出合計が16,481,626円となり、差引3,682,975円を次年度に繰越す。

次に、特別会計では、第2回理事会で承認を得たとおり、財政調整基金残高を900万円に、特別事業等基金残高を0円とし、強化育成基金に移行し、基金活用事業の審判員育成事業と国体少年強化対策事業、ビーチ連盟活動支援として操

出し、強化育成基金の残額を18,717,843円として決算する旨、評議員会に提案する。

(3) 令和5年度 一般会計補正予算について（齊藤総務委員長）

今次補正は、令和4年度決算に伴う繰越額の確定により提案するもの。

補正案は、収入の部の繰越金に令和4年度繰越金を加え、収入合計2,320万円とし、支出の部では、法人設立準備に向け、これまでのように一般会計で不足する資金を基金からその都度繰出す財政運営から、基金に頼らない財政運営とするため、予備費に275万円を措置して運営資金とする旨、理事会に提案する。

(4) 役員改選について（齊藤総務委員長）

前回の理事会において、役員等選考委員会委員が選任され、本日14時30分から役員等選考委員会を開催し、各加盟団体から推薦された評議員・理事候補の中から、次期評議員・理事候補をそれぞれ選考したうえで、理事会及び評議員会に提案する。

(5) 規約の一部改正について（齊藤総務委員長）

基金管理のより一層の適正化と役員の体制強化を図るための規約の一部改正については、前回理事会で承認を得たことから、評議員会に提案する。

(6) その他

①各委員会の委員推薦は、常任理事会で確認し、会長が指名するため、所定様式をメールにて各委員長に送信するので、パスワード設定等、セキュリティ対応のうえ5月8日までに報告願う。（齊藤総務委員長）

②法人化に向けては、加盟団体に対しても「なぜ法人化を進めなければならないか」理解していただく必要がある。

法人化により、財務管理を適正に行い、不正や不適切処理が起こらないシステムにすることや、収益事業・寄附による収益を人材育成や強化等の財源とすることが目的である。（理事長）

4 報告事項

(2) 各委員会関係

・総務委員会（齊藤総務委員長）

本日、令和4年度監査を実施。

次回理事会・評議員会のスケジュールを説明する。第2回常任理事会は10時から開催し、以降、第1回理事会、定時評議員会、臨時理事会、臨時評議員会、臨時常任理事会、交歓会を開催する。

・競技委員会（石崎競技委員長）

高校新人大会については、輪番制の導入や地区出場枠・大会日程の見直し等、様々な課題の解決に向け今後も検討を行って行く。

また、高体連関係でユニフォーム規定や複数校合同チーム参加ガイドラインについて共有がなされた。

・審判委員会（川崎審判委員長）

JVAカテゴリーレフェリーに尾上セナを追加した。

また、Eスクールに品田真太郎・三村志帆を追加し、B級キャンプには、竹本裕哉・品田真太郎・三村志帆が参加する。

・指導普及委員会（多田指導普及副委員長）

4月8日に北翔大学でジュニアキャンプ研修会を開催した。

・加盟団体（小連）

北海道新聞社からの協賛金を減額する旨の申し出を受けた。

MRS登録料の関係で、小連はJVA・道協会の下部組織なので、登録料の流れを明確にしておきたい。⇒事務局で確認する。

5 閉 会

【次回：令和5年5月13日（土）10時00分～ きたえーる研修室】

議事録署名人

理 事 長

印 藤 智 一

議事録署名人

丸 山 道 博

議事録署名人

石 崎 賢